

私の宝物「本気の英語学習者の会」の皆様への感謝

はじめに

昨年末、両肩と両腕を怪我し約4か月間入院しました。手術直後は両手が使えず不安な日々を過ごしましたが、リハビリを続けるうちにスマホを操作できるようになりました。

最初は怪我の不安もありネガティブな情報ばかり検索していましたが、医療スタッフへの感謝が芽生えるにつれ前向きになり、Facebookの「本気の英語学習者の会」に目を向けるようになりました。

感謝の気持ち

Shinya先生やSayaコーチ、参加者の皆さんの発言やイベントが大きな励みとなりました。朝の音読会のホスト復帰を目標にすることでリハビリに専念できました。支えてくださった皆さんに心から感謝しています。Shinya先生の半年間の五反田教室からはじまった学習習慣がまだ続いていて、無意識に英語学習を再開するきっかけになっていると気づきました。Shinya先生の動画からつながっている皆さんとの出会いに改めて感謝です。

多読との出会い

Shinya先生の「線と丸を引くだけで英語が読める」という本の解説動画を見てはじめて一冊本を読み通しました。多読の前にスラッシュリーディングの理解が深まったことも多読継続できた要因だと思います。リハビリ専門病院へ転院後、「本気の英語学習者の会」の多読の投稿やShinya先生の動画を見直し参考にしてiPadで多読を始めました。多読の森を年間契約し、最初黙読でスタートしたものの、数日であっさり挫折しました。ですが私は発音が好きでShinya先生から教わったオーバーラッピングが結構続いていたのを思い出し、多読の森にある「聞き読み」（オーバーラッピング）を試したところ、効果的に学習を続けることができました。

10万語から100万語へ

聞き読みでレベル0の絵本から始め10日ほどで10万語を突破。その後100万語に達しましたがネットにあるような劇的な効果は感じられず、開始時点の語彙量など個人差が多分にあると実感しました。私にとっての効果は長時間英語を聞き話すことが苦にならなくなったことと、リスニングで少し理解度が上がったことぐらいです。今の私には単語学習が必須と認識できたことが一番の収穫かもしれません。

でも入院中は一日5,6時間「聞き読み」をやっていたので英語イマージョンに多少はなってるかもしれません。

あこがれのペーパーバック

多読100万語を超えたあたりからKindleで本を買い、対応するAudibleで「聞き読み」をするという大変贅沢な英語学習をしています。自己啓発系、人気小説、SF系などを少しずつ読んでいます。簡単でも読むのが難しかったり、逆に難しくてもスラスラ理解できたりいろいろあって楽しいです。今はStar WarsのEpisode1とEpisode9を音声付きで読んでいます。Harry Potterは買いましたがまだ読んでいません。（読めなかったという方が正しい）多読多読は今後も続けていこうと思います。

AIの活用

AIの活用で英語学習者の方々へ紹介したいことが沢山ある中で、ひとつ「これは！」というものがあり、それはChatGPTの有料プランにはなるのですが、タスク機能です。

私はChatGPTで英語多読用の自分の興味のある最新のAI関連のニュースを要約、本文合わせて1000語を考えてもらい、それを毎朝7時に通知して表示してもらっています。それを読んで習慣にすることができるので英語学習者の方々にとっても合う方法だと思っています。11LabsというAIでChatGPTで作ったテキストを音声化して「聞き読み」も可能です。

退院後とこれから

退院後は通院しながらリハビリを続け、健康の大切さを実感しましたので、家でパソコンごによごによではなく、外に出て体を動かす仕事に就くことを決めました。なので今は就職活動中です。

英語学習の方法は人それぞれ異なりますがShinya先生、Sayaコーチ、「本気の英語学習者の会」の皆さんから多くを学んでいます。

これからもよろしくお願いします。